

あなたに伝えたい



上尾市議会議員（無所属）

市政&議会

井上しげる レポート

発行 2011年 1月 No 13 〒362-0031 上尾市東町 2-4-11 TEL 773-3436

E-mail shigeru1952@hotmail.co.jp ホームページ <http://5-inoue.com/> FAX 773-3451

12月市議会の
報告をします

一般会計を14億860万7千円の追加補正

生活保護費急増、補正予算の37.6%を占める

小学校普通教室に来年度エアコン設置

外国語指導助手を小・中学校全校に配置、中央小学校耐震工事前倒して予算計上

12月定例市議会は、11月30日に開会し、平成22年度一般会計補正予算など予算関連6議案、国民健康保険税条例一部改正など条例関係6議案、公の施設の指定管理者の指定10議案、平成21年度一般会計決算の認定など決算認定関係8議案など当局提出議案35件を、すべて可決し、また、議員提案の意見書4件、市民からの請願1件（4件不採択）を採択し、12月17日に閉会しました。（詳しくは「あげお議会だより」2月号をご覧ください。）

平成22年度一般会計補正予算は、14億860万7千円の追加が提案されました。予算計上された主な事業は、下表のとおりです。特に経済情勢の悪化により、生活保護費が急増し、予算の37.6%を占めていることが特徴です。主な歳入は、国・県支出金5億2百万円、繰越金4億2780万円、市債4億7790万円を見込んでいます。

【一般会計補正予算に計上された主な事業】

（単位：千円）

事業名	事業費	事業内容	主な財源
イコス上尾整備・改修事業	5,838	火災報知機の改修	市の一般財源
生活保護世帯扶助事業	529,651	生活保護世帯の増加に伴う予算計上	3/4が国庫補助金
子育てサービス情報提供事業	2,630	携帯版子育てガイドブック・マップの作成	全額県支出金
感染症予防対策事業	2,985	保育所0,1歳児、家庭保育室等に空気清浄機設置	全額県支出金
(仮)東保健センター整備事業	1,986	保健センター建設のため進入道路の測量設計委託	市の一般財源
上尾道路周辺整備事業	2,331	上尾道路東西連絡道歩道部に防犯カメラ8台設置	市の一般財源
小学校校舎大規模（耐震補強）事業	51,345	中央小北校舎の耐震工事を前倒し	国庫補助・市債

3月定例市議会は、2月24日、開会予定です。

あなたの声をお聞かせください。電話・FAX・メール、いずれの方法でも、ご意見をお寄せください。

国民健康保険税 7割の世帯が値上げに 医療費抑制こそ国保財政健全化への近道



国民健康保険税条例の一部を改正する条例が提案され、新政クラブ（自民党）、公明党、友愛クラブ（民主党）の賛成多数で可決されました。改正案は、国民健康保険税の医療分、支援分、介護分の賦課限度額を法定限度額に引き上げること、医療分の平等割額を一律5千円引き上げるものです。引き上げとセットで低所得者への軽減措置（7割・

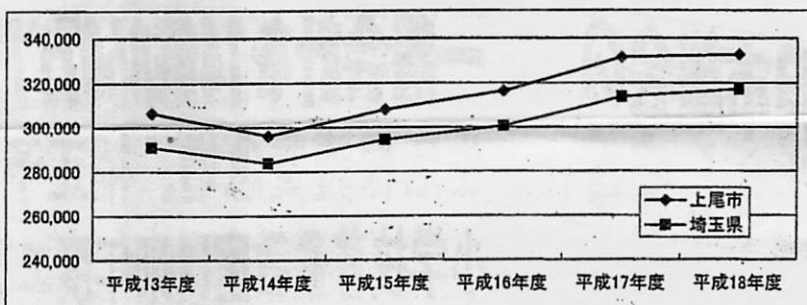
5割・2割）の拡大についても盛り込まれています。これにより国保税が年世帯別平等割額で5千円、最高で5万円の引上げになり、負担増になる世帯は7割を超え、軽減措置により負担減になる世帯は全体の約3割となります。

改正の理由について、当局は「医療費の増加に対処するため」と説明しています。

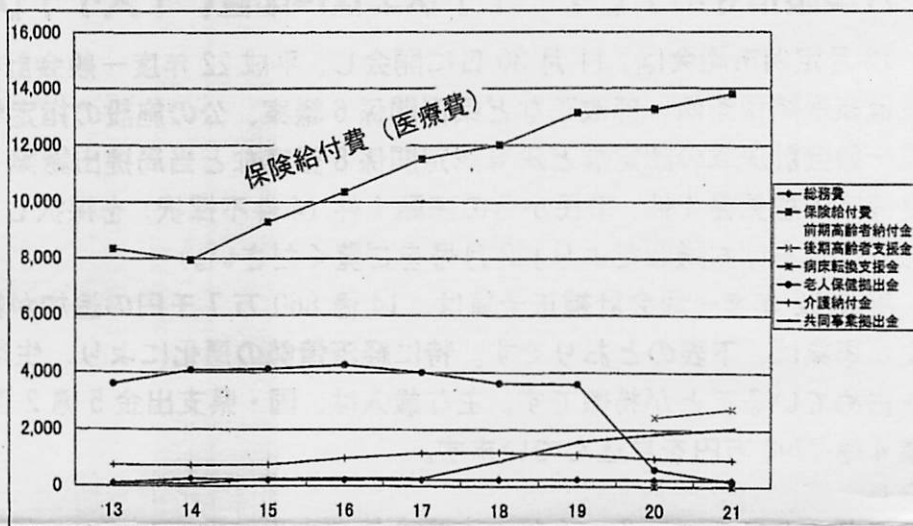
しかし、右のグラフが示すように国民健康保険財政悪化の原因は、伸び続ける医療費にあります。

井上しげるは、軽減措置については、評価するものの、家計収入減で市民生活が悪化していること、国保税を引上げることが、滞納者を増やす原因にもなっていること、収納率の低下により、国の減額措置を受け、税増収につながっていないこと、そして、今、すべきことは国保財政悪化の原因である医療費の抑制に本腰を入れて取り組むことだと主張し、条例改正に反対しました。

■一人当たりの医療費の推移（グラフ1）



■国民健康保険会計決算に占める保険給付費の推移（グラフ2）



□学童保育所の保育時間が延長されます

上尾市放課後児童クラブ条例の一部改正が可決されたことにより、学童保育所の保育時間が平成23年4月1日から延長されます。

■平日 午後6時30分 ⇒ 7時

■土曜 午後5時 ⇒ 6時

□9学童にAED設置、来年度残り10学童に

学校敷地外の学童保育所に順次、AED（心肺蘇生装置）が設置されます。今年度は入所人数の多い9学童に、来年度は10学童に設置されます。



井上しげるの 一般質問

12月定例市議会で、井上しげるは、国保税の値上げでなく、「医療費抑制と健康づくり」と「市民の足を確保するための公共交通政策づくり」について、一般質問を行いました。

医療費抑制につながる健康づくりの推進を！

縦割りでなく、国民健康保険と健康推進課が一体となって

国民健康保険財政の最大の問題は、医療費の増大です。平成21年度決算で、保険給付費は、平成11年度比で1.9倍の伸びになっています。(グラフ2)

また、一人当たりの医療費は、埼玉県と比較すると15000円前後高くなっています。(グラフ1) 医療費を抑制する対策なくして保険税値上げでは、問題の解決になりません。

医療費抑制のためには、予防医療に力を入れ、重症化を防ぐことが大切です。昨年、「健康あげおいきいきプラン」が作成され、その具体化の検討が進められています。また、国民健康保険では、医療費抑制対策として、特定健診・保健指導とジェネリック医薬品の推奨を行っていますが、実効あるものにはなっていません。二つの部署のそれぞれの取組みを縦割りでなく、市民との協働の組織作りや意識改革、プロジェクトなど、市あげての取組みにすることの必要性を指摘し、他市などの事例も示して当局の見解を質しました。

部長 医療費の抑制が社会的な課題となっていることは承知している。今後、生活習慣病を予防すること、重症化を防ぐことは、保健医療行政を維持するために重要な責務だと認識している。

市民の幸せと健康づくり、医療費の抑制を両立させていくためにも部を超えた協議を重ね、健康施策に反映していくよう検討したい。

市長 医療費の抑制は、国民健康保険の重要課題であると同時に、国保だけでなく、社会的課題であると考えている。今後とも市全体で市民の健康づくりに取り組めるよう、関係部署が連携して事業を推進することが重要であると考えている。



市民からの請願 1件採択、4件不採択に

12月議会には、市民から5件の請願が提出されました。採決の結果、下表のとおり採択1件、不採択4件となりました。井上しげるは、すべての請願に賛成しました。

高齢者の生活実態に見合う年金引上げを求める意見書の採択を求める請願	不採択
後期高齢者医療の廃止に関する意見書の提出を求める請願	不採択
最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める請願	不採択
消費税の税率引き上げ反対を求める意見書の提出を求める請願	不採択
政府及び国会に「非核三原則」の法制化を求める意見書提出についての請願	採択

市民の足を確保するため

地域協議会を設置し、公共交通政策づくりを!

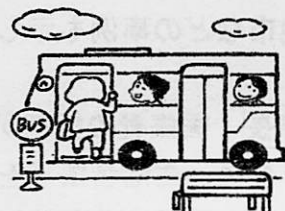
ぐるっとくん、路線バスの乗り継ぎ、福祉タクシー券の利用条件の拡充などを提案

今、日本各地で移動が困難になる人が増えています。高齢者の運転事故が急増し、免許証の返納も進められています。生活の基礎条件に「衣・食・住」に「交」が加わっています。こうしたもとで、全国各地で地域公共交通の改善を進める取組みが広がっています。

上尾市でも市民の足（移動）を確保するため「ぐるっとくん」が12年前に運行開始されました。「ぐるっとくん」の増便や路線の拡充、病院への乗り入れなどを求める要望が多く出されているもとで、地域協議会を設置して、公共交通政策を見直す時期に来ていることや「ぐるっとくん」と路線バスの運行ルートパネルにして、乗り継ぎ制度の提案や福祉タクシー券の利用条件の拡充など、当局の見解を質しました。

井上 高齢化社会の進展によって、「市民の移動手段」、「足」の確保は、ますます重要になっている。国の補助金制度を活用して、市民、事業者、行政が一体となった地域協議会を設置し、交通需要の調査、現在、運行されている「ぐるっとくん」、民間路線バスの乗り継ぎ、連携など、市民の要望にそった足の確保のために「地域公共交通の活性化と政策づくり」が必要だと思うが、考えは？ 現在支給されている福祉タクシー券のガソリン券との選択や複数枚利用など条件拡充は？

当局 超高齢化社会等、社会環境が変化してきている中、地域全体の公共交通ネットワークは、より高い利便性が求められている。こうした中、現状の「ぐるっとくん」だけが様々な市民要望に応えていくのは厳しい状況がある。現在の循環ルートを維持したままでの運用方法ではできず、福祉部門を含めた総合的な交通政策が必要なので、時期を見定めて地域全体で支える持続可能な交通政策作りが必要だと考えている。井上議員さんご指摘のとおり、路線バスと循環バスとの接点での乗り継ぎやタクシーとバスとのワークシェアリングなど、より理想に近い体系を整備し、市民ニーズに即した総合的な再編が必要と考えている。そのためには、民間路線バスやタクシー、「ぐるっとくん」、福祉バス、福祉タクシーを含めた議論を協議会の中で検討し、見直しすることも必要ではないかと考えている。



来年度から福祉タクシー券とガソリン券との選択制実施

来年度からガソリン券との選択制を実施する方向だが、福祉タクシー券の複数枚の利用については、選択制の普及や利用状況など、実施後の実績や課題等を今後検討していく。



新年、明けましておめでとう!
去年は、国内が揺れていたよね。
政界、相撲界、歌舞伎界……………
今年は、大丈夫 かい?
今年は、よい年になってほしい ワン!

